

# APCO FORCE SP

アプロ社製キャノピーは抜群の耐久性と信頼性を誇る。  
 現在発売中のパラモーター専用機「フォース」は  
 簡単・安全に楽しめるアクティブキャノピーとして大人気。  
 今回、さらに機動性を高めたスポーツバージョンが登場した。  
 フォースSP(スポーツ)にSasukeが試乗、レポートする。



## 潰れを知らないクリस्पでリジッドなりフレックス翼 ビギナーの2機目からコンペティターまで満足

よりスピーディーに軽快に！

フォースSPは2011年に発売されたフォースのスポーツバージョンという位置付け。「もっとスピーディーに、もっと軽快な操縦性を」と望む世界中のフォース愛好者の声に応えたという。今回、茨城県常総市にある輸入元、ラ・ムエツァイジャパンを訪ね、フォースSPを実際に見て触って試乗してみることとした。

### 機体構造

デザイン・マテリアル・ライザー

セールクロスは上下面ともにリップストップというアプロ標準のダブルシリコンコートナイロン。しっとり、なめらかな肌触り。今流行りの軽薄素材に比べれば、しっかりした質感がある。

キャノピー内部のリブには軽量ナイロンが使用され、キャノピー重量の削減に貢献している。すべて内縫いで、かなり太めの糸を使用。アジア製品に比べて緻密でとても丁寧な仕上がりになっている。キャノピー形状はフォースと共通のアスペクト比の大きな台形翼。正面から見るとラインの長さの割にはアーチが大きく、一目でフォースと認識できる。

ライザーは一見、オーソドックスなA+A'+B+C+D(Aは翼端用)の5本。しかし、よく見ると、AライザーとC・Dライザーがカラビナ上でパイパスして繋がっている。これが、フォース最大の特徴、SRS(オートマッチック・ストールリカバリーシステム)だ。通常時はAライザーは中立の状態。不意のブローや乱気流により、Aライザーからのテンションが急激に高まると、C・Dライザーが自動的に抑えられ、



キャノピー本体は基本的にフォースと同じ。



SRSにより、ライズアップ時の頭上安定性が非常に良い。フォースSPにはアクセルとトリムを連動させて素早くピッチコントロールさせる機能:OAAシステムが装備されている。しかしフォースSPのコントロール特性に慣れてから使用するという事なので、今回はOAAとアクセルはオフで試乗した。

翼のカブリを防ぐことができる。

さらに、Bライザー横にブレイクトグルよりも小さなトグルが設置されている。これはチップステアリングトグルと呼ばれ、これを操作することにより、沈下の少ない効率的なターンが可能になるという。

サスペンションラインはかなりフォースとは異なる。カスケード(枝分かれ)を増やし、トータルライン長を約30mも削減している。キャノピー取り付け側のラインは俗に言う「コンベライン」。これは細くて抜群の強度のある日本のクラレ製液晶ポリマー素材「ベクトラン」。例えば、ブレイクコードの先端ラインはフォースは1・1mmのダイニーマだが、フォースSPは0.6mmの極細ラインに変更され、軽量化、高速化に寄与している。

### ライズアップ&クルージング

早速試乗。場所はラ・ムエッティ社屋前のテストフライト場。この日の天気は薄曇りで、ほぼ無風。使用ユニットはラ・ムエッティ製フェザラケット。25kgのユニット込みの筆者の装備重量

は100kg弱で、キャノピーサイズは

S。投影面積は22・46㎡で最近のパラモーターキャノピーとしては少し大きめ。濃い赤地に上面黒の前縁と黄色い羽根のアクセントがかっこいいフレーム(炎)というパターン。オーダーカラーやロゴ入れも可能だ。

さて、さっそく広げてみる。リーディングエッジに縫いこんである「FLEXOR」と呼ばれる樹脂製パテンのおかげで、最初からエアインテークが立ち上がっている。早速エンジンユニットを背負い、トリマーをほぼ全開で、バックでライズアップ。微風の中

でも、翼全面に荷重が掛かり、まったくストレスなく真っ直ぐ即座に上がり、余裕で振り返り、スロットルONで助走、一発でテイクオフできた。

まずはスロットルを絞って水平飛行。トリマーはニュートラルでGPS読み38〜40km/h。スロ



大きめのアーチが印象的。インテークはFLEXORパテンにより整形がとてきれい。

### FORCE SP

サイズ	S	M	L
セル数	50	52	54
翼面積(投影)㎡	22.46	23.8	25.14
翼面積(実測)㎡	25.48	27	28.52
スパン(投影)m	9.91	10.41	10.91
スパン(実測)m	11.88	12.48	13.08
アスペクト比(投影)	4.37	4.55	4.73
アスペクト比(実測)	5.54	5.76	6.0
ルート長 m		2.56	
チップ長 m		0.43	
飛行重量(山飛び)kg	70-100	85-120	110-140
飛行重量(モーター)kg	75-145	100-170	125-190
機体重量 kg	6.2	6.6	7.0
速度(min/trim/max)km/h	22/39-42/53-55		
アクセル使用速度 km/h	68+		
最少沈下速度m/s	1.2		
安全規格(EN)	C	C	-
価格(税込)	オープン		

製造元: アブコ/イスラエル  
 輸入・販売元: (株)ラ・ムエッティ  
 〒303-0012 茨城県常総市大崎町308-1  
 [TEL] 0297-22-5910  
 [FAX] 043-332-8999  
 [MOBILE] 080-3411-7040  
 [URL] <http://www.lamouette.info/index.html>  
 [E-mail]

ットルを開きパワーを掛けると、普通ならピッチアップするところをそのまま加速して突き進んで行く。これは明らかにSRRシステムの効果だ。キャノピー剛性があり、ブレイクコードには適度のプレッシャー。ちょっとラフに操作してもピッチ変化は少なく、非常に安定している。

トリマーをフルリリース。徐々に加速し、GPS読みで49〜52km/hを示している。ノーマルフォースよりも2〜3km/hは速いだろう。その分、キャノピー内のラム圧が上がり、明らかに剛性が高くなっている。

### ターン&ランディング

フォースに比べて格段にコントロールが敏感だ。少し高度を稼ぎパワーOFFで、ブレイクコードを急に深く引くと、アクロ機のようなターンに入る。今度はBライザーに付属しているチップコントロールトグルも一緒に引いてみた。このトグルはブレイクラインの一番翼端側につながっており、高速フライト時に効果がある。

トリマーを全開にして、おもむろに右トグルを大きく引くとさらに大きなバンクで、クイッと旋回。次は左、ま

たクイッ。実に軽快に曲がって楽しい。慣れてくれば空中でのコントロールはチップコントロールだけでも十分かもしれない。スロットルをうまく合わせれば、地上のスラローム競技でも威力を発揮できるはずだ。

トリマーをニュートラルに戻す。ランディング上空、高度200m程でエンジンカットし、上体を起こしターゲットを狙う。直線アプローチを取り、地面スレスレまで近づくと十分なスピードがあり、ゆっくりフレアーを掛けると、水平状態のまま伸びる。どこまでも粘る低速性能と、それに応じた沈下率も実に扱い易く、コンベのターゲット競技でも威力を発揮できそうだ。

簡単なライズアップとランディング。荒れた空域でもビクともしない安定感に、目を見張る高速性能と旋回性能。まさしく「いつでも一緒」のフォースSPはパイロットからベテランの競技者まで満足できる機体である。

### 結論

イスラエルに本社工場のある製造元アブコのホームページを見ると、FORCE SPORT - May the force be with youとある。なるほど、これで名前の由来がわかった。これは、映画「スターウォーズ」の名言、「フォースがいつでも一緒だ」の意味。フォースとは超能力・未来を予知する力・他人の心を操る力のこと。

簡単なライズアップとランディング。荒れた空域でもビクともしない安定感に、目を見張る高速性能と旋回性能。まさしく「いつでも一緒」のフォースSPはパイロットからベテランの競技者まで満足できる機体である。



リフレックス翼+チップコントロールにより超クイックな操作感。